

広く、大きく、出し入れしやすい、多彩に使いこなせるカーゴルーム。

ライフスタイルに応えるだけでなく、
 使う人の趣味や遊びの世界を広げたい。
 そのためにフリード スパイクは、大容量の空間を確保。
 そのうえで荷物の出し入れがしやすく、
 スペースを有効に使えるよう、
 サイズや形状に徹底してこだわりました。
 さまざまな荷物、さまざまな用途に対応し、
 空間の可能性が大きく広がる使いやすさを実現しています。



遊び方に応じて、たっぷり積める、大きく使える、 可変容量のカーゴルーム。

Honda独自の低床・低重心パッケージにより、低くフラットなフロアを実現。さらにリアシートのダイブダウン機構によっていっそう大容量の空間を生み出すとともに、反転フロアボードの活用により、容量をさまざまに変えられるカーゴルームを実現しています。

■荷室容量

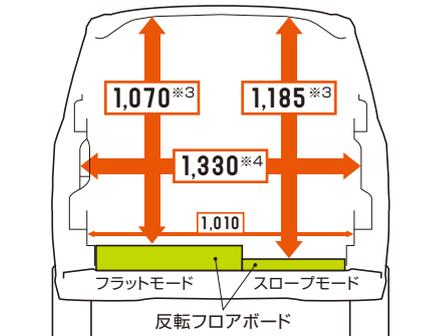
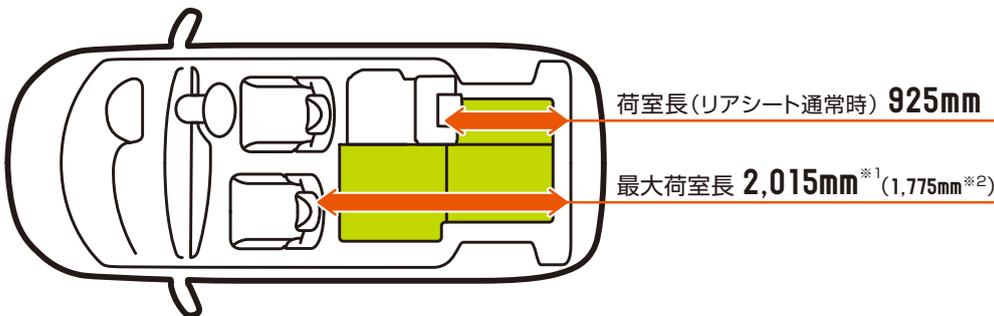
リアシート両側ダイブダウン時	1,184 [※]
リアシート通常時	610 [※]

※反転フロアボード:左右とも低床状態
 フロントシート:スライド最後端
 数値はVDA方式によるHonda測定値

■荷室寸法

荷室長	リアシート通常時	925mm
	リアシートダイブダウン時	2,015mm ^{※1} (1,775mm ^{※2})
最大荷室高	左右とも高床(フラットモード)時	1,070mm ^{※3}
	左右とも低床(スロープモード)時	1,185mm ^{※3}
荷室幅	ビルトインテーブル非装備車	1,330mm
	ビルトインテーブル装備車	1,220mm
荷室床面幅	ホイールハウス間	1,010mm

※1 助手席:スライド最前部 ※2 助手席:スライド最後端 ※3 スカイルーフ非装着車 数値はHonda測定値



※1 助手席:スライド最前部 ※2 助手席:スライド最後端 ※3 スカイルーフ非装着車 ※4 ビルトインテーブル装備車は1,220 単位:mm 数値はHonda測定値

■マウンテンバイク2台をそのまま積めるなど、 さまざまな荷物に対応。

リアシートをダイブダウンすることで、フロントシートを最後端までスライドさせても1,775mmの長さを実現。高さにも余裕があるため、スロープモードでマウンテンバイクを2台立てたまま積載することが可能です。また、助手席を最前部までスライドさせることで2,015mmまで拡大。フルフラットモードでサーフボード(約1,830mm)を積み降ろしや、エアベッド(約1,800mm)を敷くこともできるなど、さまざまな活用を可能にしています。 数値はHonda測定値

■積載イメージ

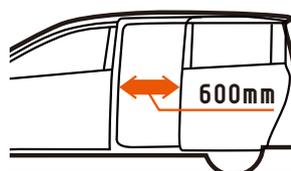


■サイズや形状により積載できないものもあります。

後ろからも横からも、大きな荷物も 出し入れしやすい大開口。

テールゲートの開口部は、高さ1,080mm、幅は最大で1,160mmを確保し、開口地上高を515mm(スロープモード時)に設定。大きな荷物や重い荷物でも積み降ろしがラクに行えます。また、スライドドアの開口部は、600mmの幅を確保。横からの出し入れもスムーズに行えます。

数値はHonda測定値



開口部高さ

1,080mm

最大開口部幅

1,160mm

開口地上高

(スロープモード時)

515mm (FF車)

